主催：科学研究費基盤研究 B「絵画表現における風土と技術　―膠を中心とする伝統的材料の持続性に関する調査研究―」
共催：膠文化研究会　後援：文化財保存修復学会、国宝修理装潢師連盟

膠文化研究会　第 7 回公開研究会

「膠入門」

広汎な美術品制作と修理に用いられてきた膠。今回は絵画用膠の基礎の基礎というべき知識に絞って講演を行います。これまで普及していた三千本膠製造の実像を紹介する記録映像も特別に公開されます。歴史的、化学的な見地から膠を解説し、日本画と膠について新たな視点で論じます。日本画に関わる全ての人、特に学生に向けて企画された研究会です。

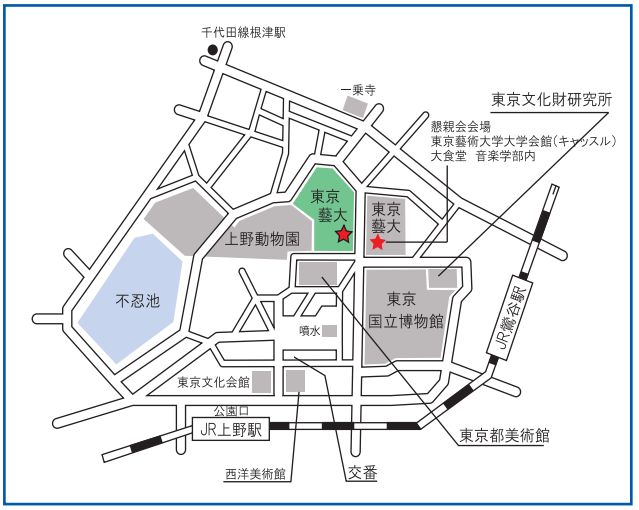
日　　時：2015 年 6 月 13 日（土）　13：00 ～ 16：35
会　　場：東京藝術大学美術学部中央棟第 1 講義室
定　　員：先着 100 名
参 加 料：無　料
懇親会費：一般 3.500 円（事前払込み 3,000 円）、学生 2.000 円

プログラム

12：30 ～	開場・受付開始		
13：00 ～ 13：10	開会挨拶	北田　克己	愛知県立芸術大学美術学部教授
	司　会	半田　昌規	国宝修理装潢師連盟理事
13：10 ～ 13：40	**「接着と膠」**		
		早川　典子	東京文化財研究所保存修復科学センター主任研究員
13：40 ～ 14：10	**「膠の基礎知識」**		
		宇高　健太郎	日本学術振興会特別研究員（東京文化財研究所）
14：10 ～ 14：40	**「近代の日本画と膠 ― 問題提起として」**		
		荒井　経	東京藝術大学大学院美術研究科准教授
14：40 ～ 15：20	**「三千本膠製造の記録」**		
		森田　恒之	東京藝術大学客員教授・国立民族学博物館名誉教授
15：20 ～ 15：50	休憩・ポスターセッション		ポスター「膠製造体験@姫路を通して―素材の向こう側に見えるもの―」後藤秀聖（画家）、大崎哲生（大崎商店）　中央棟ロビー
15：50 ～ 16：25	質疑応答 座長：稲葉　政満		東京藝術大学大学院美術研究科教授
16：25 ～ 16：35	閉会挨拶	斎藤　典彦	東京藝術大学大学院美術学部教授

※プログラムは変更になる場合があります。

【 懇 親 会 】　17：00 ～ 19：00
会　場：東京藝術大学大学会館（キャッスル）大食堂
　　音楽学部内



【参加申込み】　事前受付制
　膠文化研究会公式サイトから参加応募様式をダウンロード、必要事項を記入の上、事務局　nikawalabs@gmail.com 宛メールに添付してお送りください。
受付期間：5 月 15 日（金）～ 6 月 5 日（金）
参加証発行開始：6 月 1 日（月）
懇親会費事前払込期限：6 月 8 日（月）

膠文化研究会公式サイトは新サイトに移行しました。
http://nikawalabs.com/index/
Facebook ページ　http://www.facebook.com/NikawaLabs

【 問い合わせ 】問い合わせはメールでお願いします。
膠文化研究会事務局　東京藝術大学日本画研究室内
〒110-8714　東京都台東区上野公園 12-8
メール：　nikawalabs@gmail.com
電　話：　050-5525-2135（斉藤）

膠文化研究会は膠文化の研究と膠技法の普及を目的とした作家、文化財修復技術者、研究者、教育者などによるユーザー団体です。